

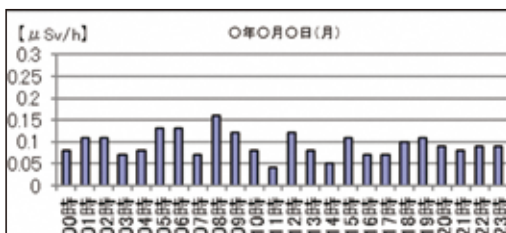
Project プロジェクト

R3年5月1日号
放射線タウン情報

2021.5.1 発行 No.29
【編集発行】
南相馬市健康づくり課
☎0244-44-2121

おさらい！ D-シャトルとは？

D-シャトルは、1時間単位で放射線量の測定ができる線量計です。配布した「行動記録票」に日毎の行動内容を記録しておくことで、「1日の中でどういう行動をして、どこに居た時の被ばく線量が高かった・低かった」という傾向を把握することができます。測定結果は、後日分かりやすい資料としてお渡しします。



画像左側：「Dシャトル」、右側：測定結果グラフの一例

あわせて知っておきたい！
D-シャトルの利用をより便利にしてくれる



戸別訪問による測定サービスについて

環境省事業*として、公益財団法人原子力安全研究協会（以下、「原安協」と呼ぶ）が行っている、D-シャトルによる外部被ばく線量測定が、市内全域を対象に実施されます。その特徴は、「戸別訪問」によって、D-シャトルの貸出から結果説明までを行うことです。D-シャトルの利用を希望される皆さまの自宅まで、原安協の担当者がお伺いいたします！

*令和3年度原子力災害影響調査等事業（福島県内における住民の個人被ばく線量把握事業：外部被ばく）

D-シャトルを
便利に利用しよう

ティー

原安協によるD-シャトル貸出から結果説明までの流れ

①電話する

- ・専用フリーダイヤル**0120-511-157**で随時受付をしています。
- ・担当者と日程を調整してください（平日9時～17時受付 土日祝を除く）。

②D-シャトルを借りる

- ・原安協の担当者が持参する「同意書兼借用書」および「測定前アンケート」に必要事項をご記入いただき、線量計を借ります。
- ・※最長1年間の借用が可能（途中で止めることもできます）

③測定する

- ・通常通り生活していただき、「行動記録票」にその日行った場所や取った行動について簡単なメモをします。

④読取りしてもらう

- ・測定期間が終了したら、原安協の担当者が測定データの読取りに伺います。
- ・※1年間の借用を希望される方は3～4か月単位で区切って読取りします。

⑤結果説明

- ・原安協の担当者が、紙資料としてまとめた測定結果に基づき、被ばく量から受ける健康への影響などについて丁寧に説明を行います。
- ・最後に、測定後のアンケートにご記入いただいて終了となります。

こんにちは、公益財団法人原子力安全研究協会です。
震災から10年が経過しましたが、放射線被ばくによる健康影響について不安はありませんか。

被ばく線量の測定結果について説明し、普段思っている疑問にもお答えします。

お気軽にご連絡ください！



戸別訪問に抵抗のある方もいらっしゃると思いますが、原安協による本事業は、飯舘村や浪江町など、他市町村においても実施され、「**測定結果を直接説明をしてもらえ**」「**放射線に関する疑問や質問に答えてもらえる**」という機会はなかなかないため、継続的に測定されている方々も多いようです。

追加外部被ばく量に強い不安を感じる方は、ぜひ、原安協へD-シャトルの貸出を依頼してみてください。なお、測定データについては、個人情報取扱に十分留意した上で、環境省事業および南相馬市の健康管理支援事業等に利用いたしますので、予めご了承ください。

※同意撤回書による測定協力の中止も可能です。